

第15回eモニターアンケート 「新型コロナウイルス感染症について～その2～」

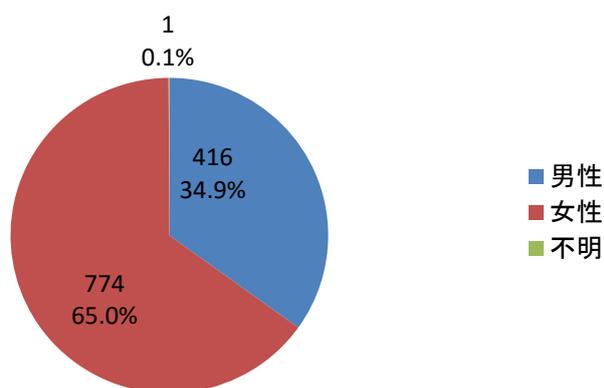
実施期間
回答数

令和3年2月10日 ～
1191 人

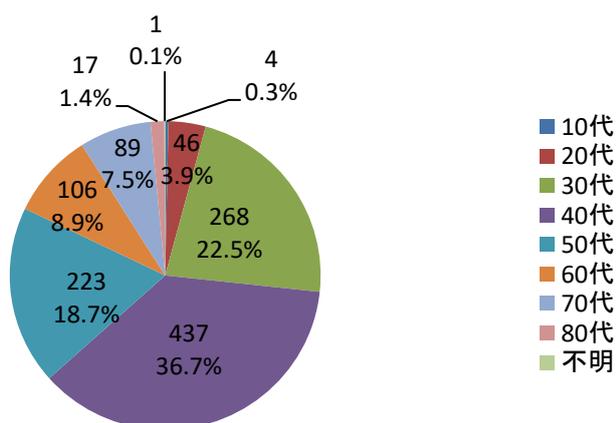
令和3年2月17日

※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人

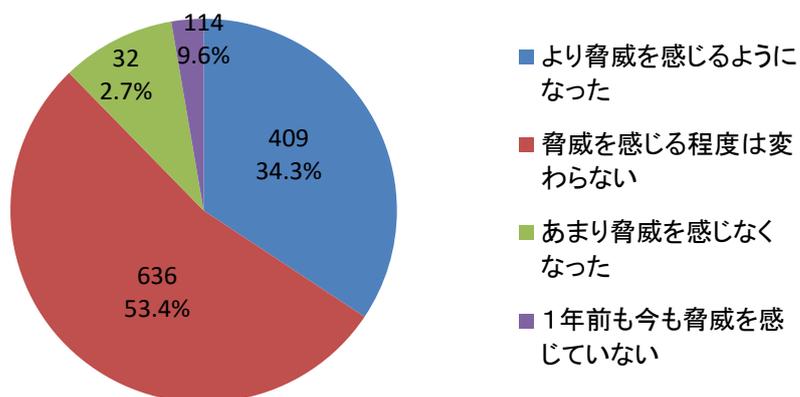
性別



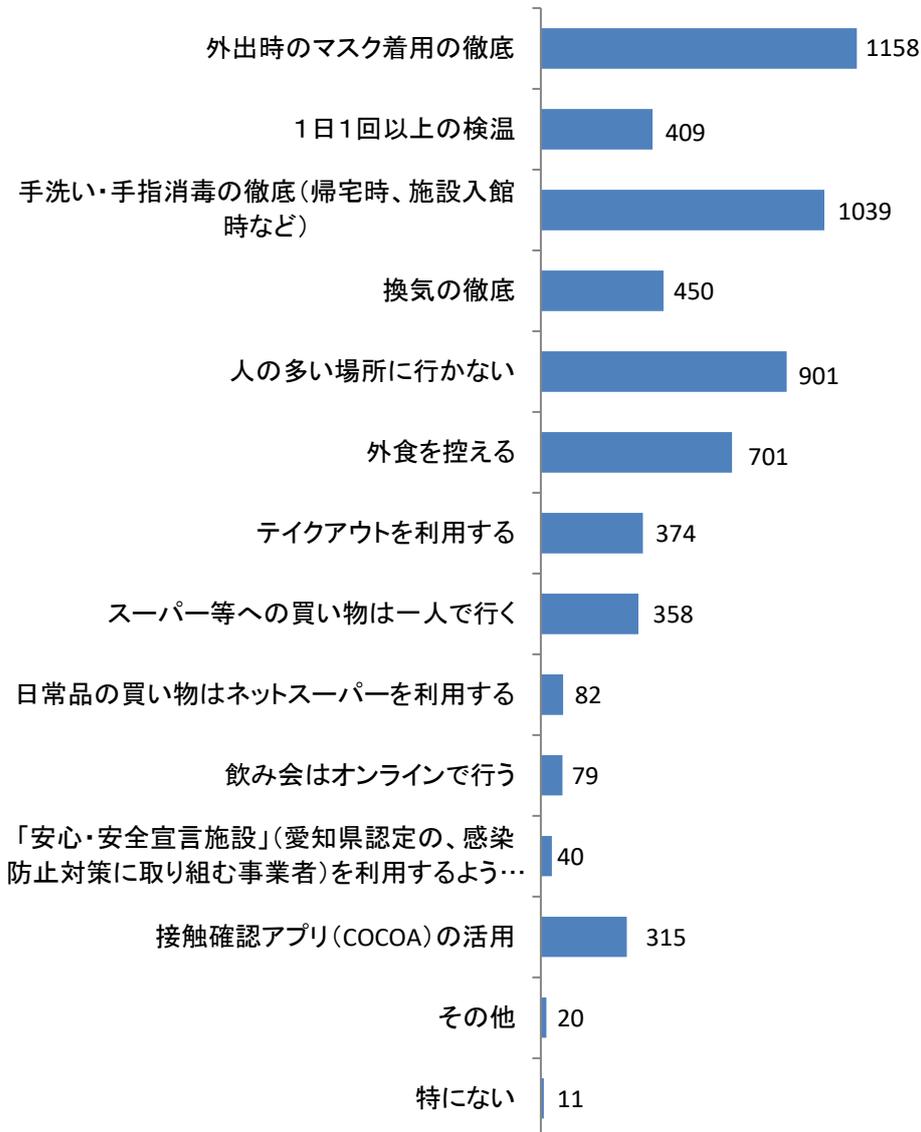
世代別



問1: コロナに対する「意識」の変化



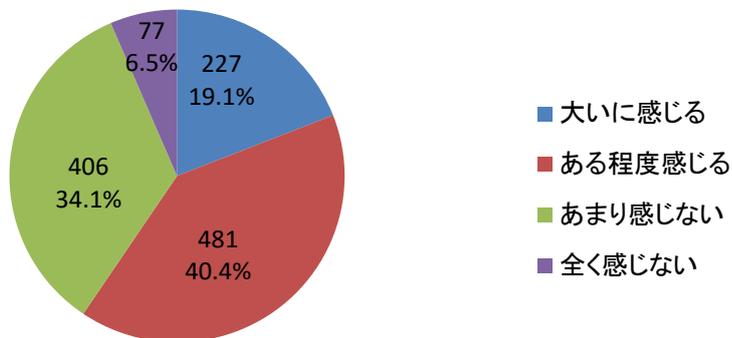
問2: 習慣化した「新しい生活様式」(複数回答)



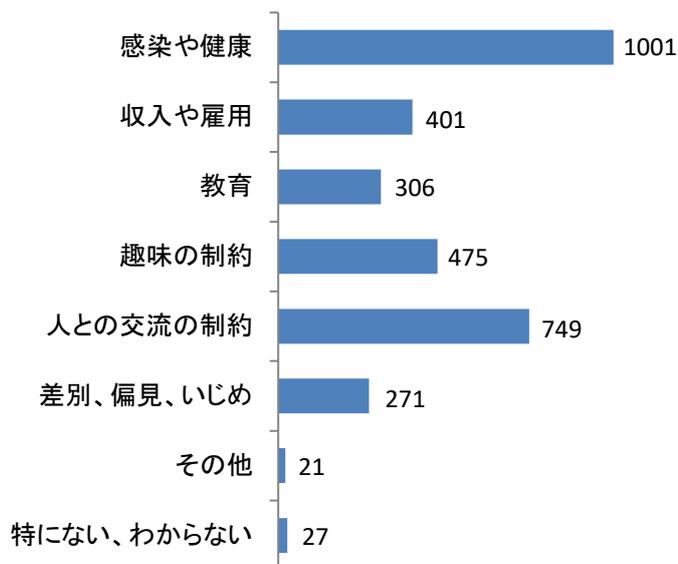
【主なその他意見】

- ・ 飲み会はしない
- ・ お友達との会食はしない
- ・ 家族以外と会う回数を減らす
- ・ 在宅勤務
- ・ 宣言発令中は、習い事を休んでいる
- ・ 美容室に行く頻度を減らす

問3: コロナ以降生活が苦しくなっていると感じるか



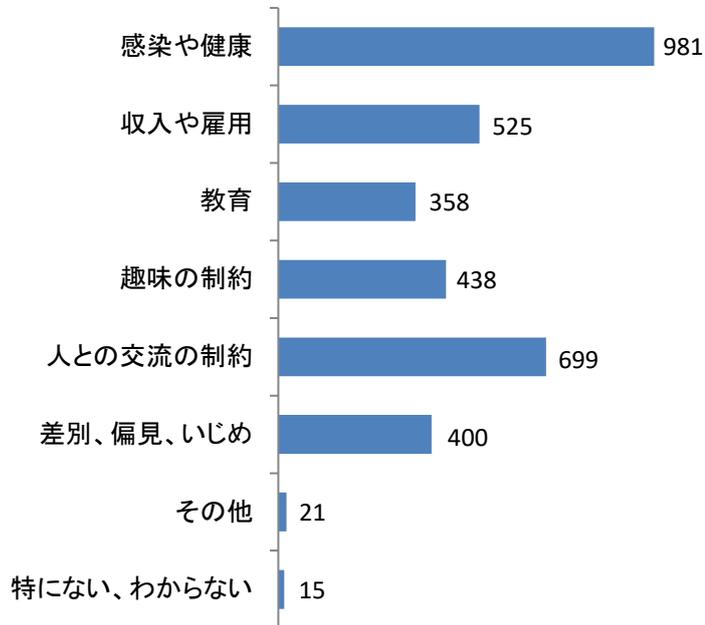
問4: コロナ禍での生活で、現在、不安・負担に感じていること(複数回答)



【主なその他意見】

- ・感染症に対する考え方の違いによる人間関係。
- ・感染対策の押し付け
 - ・図書館でゆっくり本が読めない
- ・特に高齢の親と会えない、入院時に面会ができないこと
- ・娘が市の保育士をやっているが、帰宅が遅くなり孫の世話依頼が多くなった。
- ・子供のストレスによる不登校
 - ・ストレスが発散できない
- ・子供の部活の大会が延期、無くなるのでモチベーションが下がってる
- ・希望が持てない、楽しみがない
- ・陽性になった際に、濃厚接触者に迷惑をかけてしまう事と、もし、自費でPCR検査をするならその費用が心配

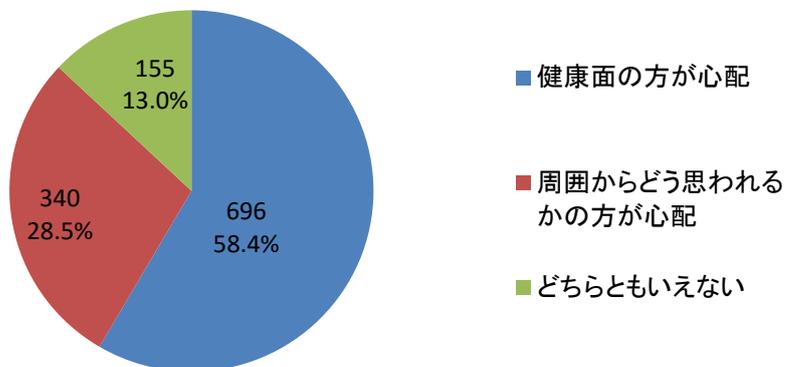
問5:コロナ禍での生活での今後の不安(複数回答)



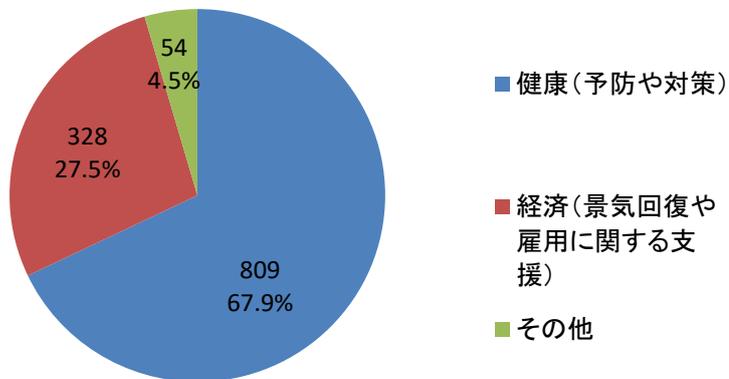
【主なその他意見】

- ・復興税のように、コロナ税などと、徴収されるのではないか
- ・治安の悪化
- ・子供達の将来の税金負担
- ・もしかかったらその後の後遺症
- ・自分が感染した時で隔離された時の、子供の面倒は誰がみるのか。
- ・感染したときに受け入れる病院の確保
- ・運動不足
- ・何を信じたらいいのか、コロナが出現してから世の中不信感しかない

問6:コロナに感染した場合の心配



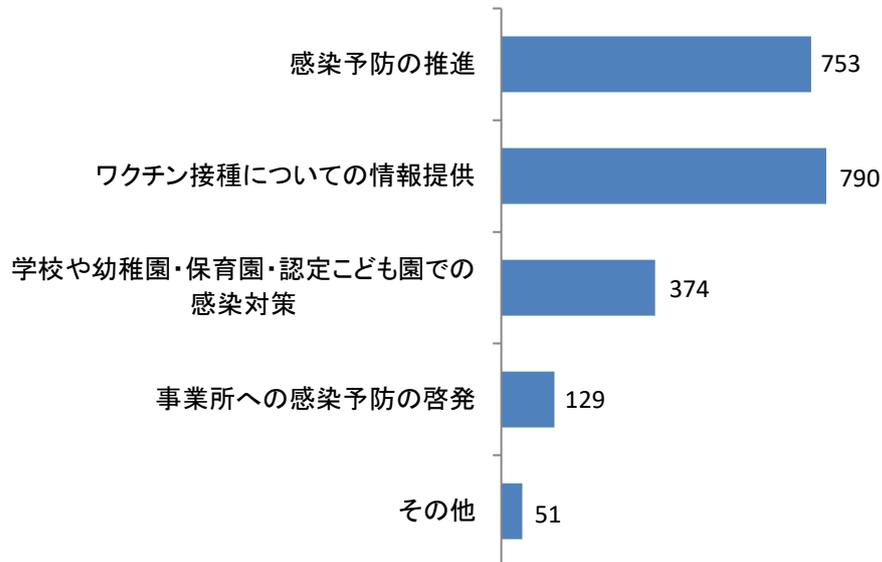
問7:コロナ禍において、市が今後優先すべきこと



【主なその他意見】

- ・正しい情報公開
- ・どちらか優先ではなく両立して欲しい
- ・コロナについての正しい知識
- ・健康と経済のバランス
- ・看護師への助成金や支援
- ・両方のちょうど良い加減を見極める
- ・市民平等に対して水道料金の割引など公平に行うべき
- ・コロナ感染者の、感染前、感染時、感染後の症状分析と情報公開。
- ・定期予防接種の期間延長
- ・ワクチンがスムーズに接種できる対策

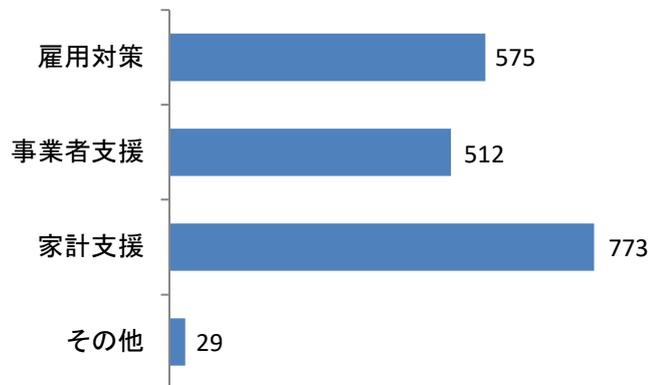
問8: 健康に関して、市が優先すべきこと
(2つまで)



【主なその他意見】

- ・ 詳しい感染経路の開示
- ・ 病院や看護師の確保
- ・ 市主催の行事を制限すべき
- ・ 高齢者への感染予防
- ・ 感染者への支援
- ・ 学校を休校にしないことに大人が全力で取り組む
- ・ 高齢者施設や福祉センターを利用する高齢者への注意喚起
- ・ PCR検査の拡充
- ・ 高齢者の外出を控えてもらう事
- ・ 医療、高齢者施設スタッフへの支援
- ・ 感染後のサポートの仕組み構築と、その啓蒙活動
- ・ コロナで控えられている検診の推進
- ・ 高齢者施設や高齢者訪問事業にかかわっている人への感染対策の補助
- ・ 学校や企業はその組織の中で管理が徹底されているので良いと思いますが、公園やスーパーでご年配の方が予防せずに行動しているのを抑止する必要があると思います。

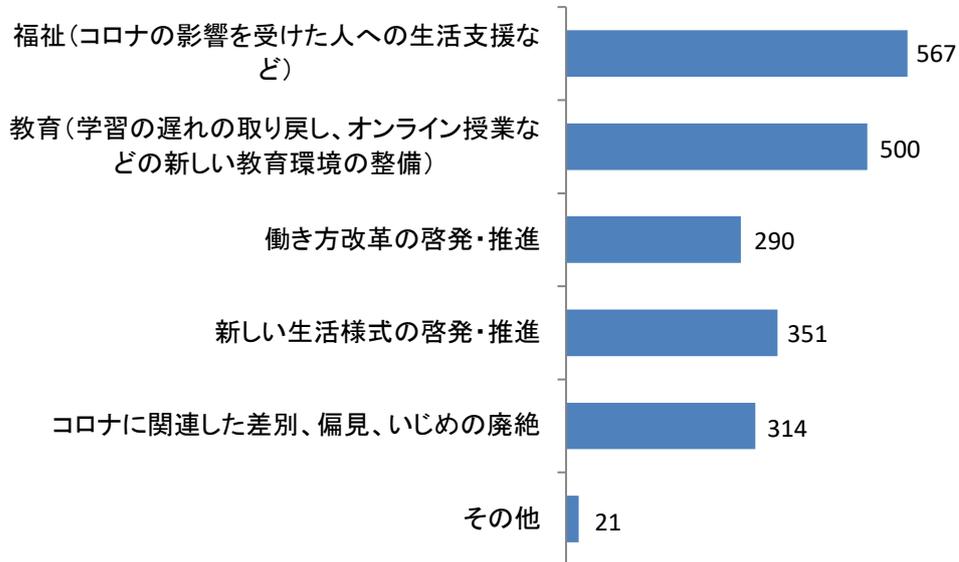
問9: 経済に関して、市が優先すべきこと
(2つまで)



【主なその他意見】

- ・失業者対策
- ・また市で使える地域クーポン券などの購入で地域活性。
- ・仕事が無くなり、生活、家賃など対応する事が難しくなった人への支援。
- ・全ての市民への給付金
- ・収入減の人への補助
- ・一般家庭への一律の支援
- ・国の支援が回らない事業への支援
- ・ふるさと納税の強化・促進
- ・ワークシェアリング。すべての事業者が暇なわけではない。スーパーやホームセンター、ドラッグストアなど忙しかった事業者もある。仕事がない人に働いてもらえば双方が助かる。

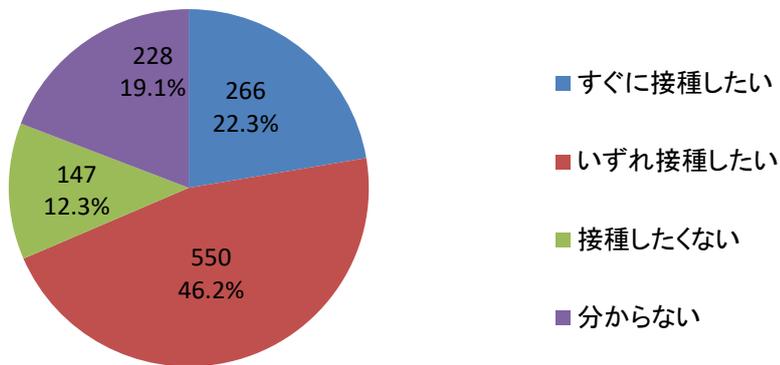
問10: その他に市が優先すべきこと(2つまで)



【主なその他意見】

- ・ 農業参入者への補助
- ・ ワクチンの効率的な接種
- ・ 医療従事者への支援、補助
- ・ コロナになった人への支援。回復後のサポート。
- ・ プライバシーを尊重した上での感染状況の情報開示
- ・ 感染ルートの徹底した把握

問11: ワクチン接種



「すぐに接種したい」【主な理由】

- ・ 感染予防を早くしたい
- ・ 不安感を解消したい
- ・ 効果が100%出なくても、副反応の可能性が0でなくても、メリットが大きいと判断している為。
- ・ 医療従事者に安心して仕事して貰いたいので
- ・ 持病があるので、感染防止に効果があるなら、すぐ接種したい
- ・ 集団免疫が必要だと考えるから
- ・ 基礎疾患があるから
- ・ 海外でも接種が進み、安全性も大丈夫そうだから
- ・ 「知らずに誰かを感染させてしまうかもしれない」という不安をなくしたい

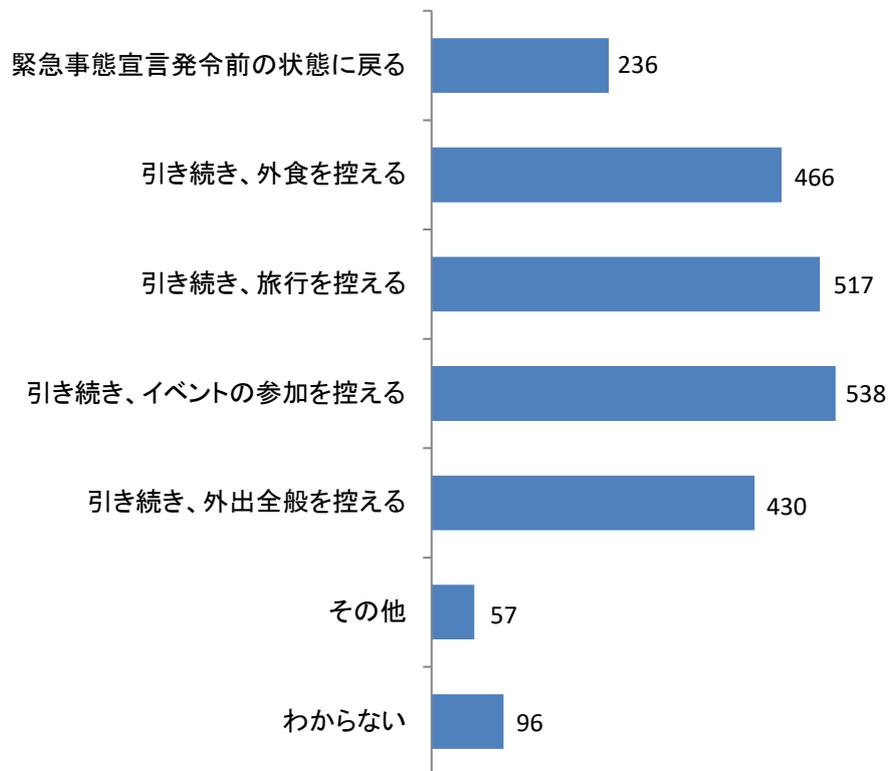
「いずれ接種したい」【主な理由】

- ・ 副反応が怖いため、先行で接種した人の様子や経過を知りたい
- ・ リスクの高い人から打ってその後で
- ・ 安全性がもう少し確認されてからうけたい。授乳中なので、母乳に影響はないのか心配です。
- ・ 慌てることはないと思っている。
- ・ 効果の程度が不安
- ・ 医療従事者や高齢者、介護施設に関わる仕事の方などを優先して頂きたい

「接種したくない」【主な理由】

- ・ 副反応が心配
- ・ 効果が不透明な上、副作用の情報も不足しているから。
- ・ 接種によって、社会においてのリスクも減ることを考えると接種せざる得ないと思っていますが、やはり短期間で作られたワクチンには不安があります。
- ・ もともと他の予防接種でも体調が少し悪くなるため
- ・ 短期間で開発されたワクチンに対してやはり安全性の不安がある為。
- ・ ワクチン接種の後の遺伝子レベルでの後遺症が不安
- ・ 必要がないから
- ・ したい人を優先させたい
- ・ 身体を動かして免疫力やストレスに対する抵抗力を付けることが第一と考える

問12: 緊急事態宣言解除後、生活スタイルはどう変わ
らうか(複数回答)



【主なその他意見】

- ・元々普段通りに生活している。旅行、外出、外食を控えていない
- ・手指の消毒、マスクの着用等の基本的な予防措置(生活スタイル)はそのままでコロナ前の生活をしたい(あえて外出等を控えない)
- ・解除後すぐに発令前の生活に戻るのではなく、引き続き様子を見ながら外出、外食、旅行に行きたい
- ・外出する内容が、不要、不急かを判断して行動する。
- ・ゴールデンウィーク過ぎまでは色々な面で継続して自粛生活を続ける
- ・リモートで音楽ライブや授業など、コロナでリモートが一般的になったものに関しては、リモートのままであって欲しい

問13：コロナ禍における行政運営についてご意見があれば、自由にお書きください。（抜粋）

心身共に防衛体力を高める方策を市民全体へ広げる空気が理想と考えます。不安感をあおるような発信は免疫力を下げ逆効果。具体的には、「換気の良い屋外でソーシャルディスタンス確保しながら楽しく身体を動かす」イベントに対してのサポートなど、市民の目線に寄り添うポジティブな独自対策を打ち出してほしい。

ワクチン情報を早めにおしえてもらえるとうれしい

コロナ感染者を減らすために、PCR検査を拡充し、無症状者を見つけて、感染を抑え込んでほしい。症状がある人はすぐに病院に入院できるようにしてほしい。

先日ANJO広報臨時号を頂きました、身近な現況・詳細情報を知ることが出来ました、親切な資料ありがとうございました。「予防の心掛け」を新たに致しました、コロナの収束の目途、不明であれば、いつかタイミングを見計らって、広報臨時2号の発行を是非ともお願い致します

ワクチン接種で、現在のコロナ禍を乗り切れる。地方行政としては、いかに効率的な接種を図れるかに重点を置くべきで、現時点での支援等々には労力を傾けるべきでない。

希望者にPCRがすぐ受けられるような体制があるといい。実際に自分がコロナの診断を受けた場合、どのような対応になるのか(自分はどんな持ち物でどこに行くのか、濃厚接触者の家族の学校や職場はどの程度休むのか)など具体的な流れが分からないことが不安です。

台風や地震などの避難時のコロナ対策は、大丈夫なのか心配です。

コロナになったらどういう対応をしなければならないのかといった状況を伝えてほしい。感染者や、感染後の回復者への支援は、どのようなものがあるのか、など。

施設勤務者に対して、マスクの補助などして欲しい

コロナにより産業構造が変わるように思う。淘汰される業種や企業、店舗があるだろうから、そこで働く人を、今後必要とされる業種、企業、店舗に移れるような環境を整備してほしい。

ワクチン接種を早く受けられるようにしてほしい。また、外食などの事業者の方々に支援をして欲しい。他に、この数週間安城市の感染者が一定数の発生をみていることが気がかりです。発生元の特定やどの地域で発生したかなどの情報をプライバシー保護に配慮しつつ発信願いたい。

飲食店など時短営業しているが、時短のせいで昼間に飲食店が流行っているのをよく見かけます。飲食店で働く知人からも、ランチ時に満席で待ちが出るほどお客さんが来ると聞きました。圧倒的に年配者だそうです。若い人が問題視されていますが、地域によってはそうじゃないかもしれませんね。時短営業、あまり意味ないような気がします。

感染対策で、特に換気をしていない店舗や事業所が多すぎて大変不安。また、高齢者が大勢でランチをしたりお茶をしている場面をよく見かける。危機感のない高齢者が大変多く、市からも感染予防の啓発を徹底してほしい。

子供達が心配。マスクさえしていれば、隣の席の子がコロナ発症しても濃厚接触から除外されると聞いています。授業のオンライン化が進んでも、欠席の連絡は近くの子に連絡帳やプリント手渡しなどの、熱がある子がいるご家庭の人との直接の関わりなどの接触が怖く思います。既存のメールシステムなどもありオンライン化が進むのであれば、連絡帳などの昭和からの古いシステムも新しい生活様式に則って変え、子供達や親、学校の職員の皆さんも守り負担も減らしていただきたい

安城市、又その近隣の市に多くのコロナ患者が多く新聞で知りましたが、クラスターなのか何の情報も無く不安だ

以前の飲食店券のようなもので地元のお店を助けてあげてほしい。ただし、テイクアウトに限るなど感染拡大予防も考えたうえで実施してほしい。

県外に大学生が二人、負担が大きいです。今後の就活、奨学金や教育ローンの返済など、大学生の将来は深刻。市では対応が難しいとは思いますが、県内外に対応できる独自の奨学金（給付型や無利息）を是非。

市に対して強い要望はありません。やはり、国や県レベルでの対応を強く望みます。

市役所の窓口にて、離間対策が取られているにも関わらず、混み合っていると、他人と隣り同士で座らされ接遇された。隣接する椅子は離して、物理的に接近できないようにしてほしい。

安城市は、他の市町村に比べ、コロナ感染者の発表に対し、秘密主義的である。コロナ感染者に対する偏見、風評被害に配慮するのは、理解できるが、感染状況が、全くわからないのが現状である。それこそ、隣の人、職場の人が感染していても秘密主義のため、わからない。あまり公開するのも問題があるが、少しの情報は必要かと思う。感染を拡大させないためにも。

感染、予防はもちろん大切で徹底してほしいが、感染した場合のサポート…感染者に家族がいる場合の家族サポート、感染後の精神的サポート、完治後の後遺症の有無やいじめなどがなくないかなどのサポートなどを考え実行してほしい。それにより市民がより安心して暮らせると思う。

家庭への経済的応援をお願いしたいです。

市民一律の行政サービスは、全国と同水準であればよく、他の自治体で話題となった独自の給付金などは不要で、不足する方には個別の支援で対応するのが適当だと思います。一方で、新しい生活様式に対応した事業への転換のためには投資が必要で、その点の事業者への支援が必要だと思います。支援の際には、単純に事業者への補助ではなく、GOTOキャンペーンのように消費を喚起するかたちで市民の理解と協力を得ながら行うのがよいと思います。

ワクチンの安全性が不安です。市民が接種後に起きた症状を公表して欲しいです。

コロナとの共存はしばらく続くと思うので、多人数のイベントなどは当面控えて頂きたいと思います。学校行事の可否などは、市内である程度統一した方がいいかなと思います。

緊急事態宣言中なのに 中学校で 合唱の練習をしています。マスクをしているとはいえ 他県で合唱クラスターも出てるので やるべきではない。刈谷市や岡崎市は コロナでた学校名、保育園名が公表されてるのに 安城は 非公表なのは なぜ？学校では 合唱してるので 余計に不安です。

経済活動を停滞させたくないのはよく分かるが、焦って経済活動を再開すれば再び感染拡大を招いてしまう恐れがある。「今は我慢の時である」と自分に言い聞かせて、一刻も早く完全に終息させてほしい。感染拡大防止が最優先である。

もう少しコロナになった人の情報を知りたい。地域や学区を知れば、対策がとりやすい

子育て関係のイベントや講座の多くが中止されており、孤独を感じたり、家族以外との交流が減ることによって子どもの成長が心配になることが多い。オンラインで受講できる講座なども増やしてほしい。対面が難しいのならオンラインや電話での相談も気軽にできるようにしてほしい。

無症状者・軽症者の自宅療養をよしとしないで欲しい。ホテルが足りないなら公共施設や体育館を使ってでも感染した人間を隔離し&容態管理をすべき。ワクチンが見えてきて予防対策が失速しているように思える。今後ワクチンが効かない変種が発生するかもしれないという危機感を持って準備を整えてほしい。

コロナで解雇された者です。雇用保険の給付金は(解雇前に休業状態だったので)月額にすると最低保証の5.6万しかいただけませんでした。10年勤めたのに。生きる気力がなくなっています。私のような人を少しでも減らしてほしいです。

本当に困っている人を早く助けてあげて欲しい。

公平感のある施策をお願いします

身近な知り合いにコロナ感染者がいなかったため、感染あるいは、発症の恐れが出てきた時の初期対応が保健所に連絡するくらいしか、思い当たらないので、しっかり開示して欲しい。

行政手続きなど窓口に出向かなければならないが、今後はリモートで可能なように希望します。また、マイナンバーカードを取得しましたが、手続きが難しかった。簡単な方法を希望します。さらに、マイナンバーカード取得の利点がないので行政改革を進め、利点を早急に増やしてほしい。口座との連携もOKです。

友人にも、新型コロナにかかり、軽症で済んだものの、職場の同僚からの偏見を受けて退職せざるを得なくなった方がいます。無分別な偏見が起こらないよう、事業者への啓発を徹底していただきたい。

税金をあまりにもかけ過ぎだと思う。結局は自分自身は自分で守らないといけないのに、これじゃあ他力本願になってしまい個々の判断力が落ちてしまう。

市の行事全中止ではなく1つ、2つ対策を取ってやって欲しいです。

ワクチン接種が決まったら分かりやすく情報提供をおねがいします。

テイクアウトやデリバリーの推進や、新しい様式で付加価値が含まれて上がることに取り組んでほしい

市内の感染者の情報をもう少し知りたい。その情報を活かして、近づかない施設・イベントや注意すべき行動を特定したい。

コロナの生きた知識を知るためにために情報として、体験者の話を聞きたい。

GoToキャンペーンよりもコロナに関する事を優先して欲しい。外出、外食するにしても先立つお金が無ければどうにもならないと思うので。

日本全体で脅威となっているコロナに対して、色々と対策をして下さっていると思います。誰もが初めてのウィルスなので、手探りしながら一生懸命頑張ってくれていると思います。外食もあまりできないので、テイクアウトできるお店も増え、利用させていただいています。色んな面で自粛のため、子供達に与えるゲーム本体や、家で使用する物など、お金もたくさん使ってしまうので、厳しい状況ですが、5人子供達と楽しく過ごしています。安城市も懸命に取り組んでくれていて感謝しています。

自身の雇用は特に心配な状態では無いが、子供の就職に影響が出そうで心配

再度プレミアム商品券の販売(買えなかった人もいるので)1人親世帯だけじゃなく、子育て家庭への、支援。
先ずは行政からオンライン会議・議員の大人数での会食自粛を行い、自ら見本を見せるべき。
経済をしっかり回すことが重要だと思います。それが市民を守ることにつながる
政治も医療もどこを向いているのか分からず、うんざりする。超過死亡が増加していないのに騒ぎすぎている。分かっていない点を指摘する場がなく、同調圧力に屈してしまう。
飲食店で着席後に、会話中はマスクをしてくださいと言われたのは、良いことだと思った こういった指導を広めて、行っていくべきだと思う 行政の手続きをネットでできるように広げて欲しい
コロナ禍で安城市行政が特にどのような役割を重視して、果たそうとされているのが見えません。行政は母子家庭や低収入世帯の経済支援をしていたかとよいかと思います。また事業者を対象に、雇用創出・促進のための市独自の経済支援(助成金など)、緊急事態の間だけでもカラオケのような密閉空間に高齢者が出入りすることを制限する啓蒙、あるいはカラオケ店の営業自粛要請と協力金給付などご検討いただきましたらいかがでしょうか。飲食店よりも高齢者のカラオケ店への出入りを制限した方がよろしいかと。
医療崩壊が起きないように、対策を万全にしていきたい。決して救急や急病のときのたらい回しが起こらないようにして下さい。
子どもの定期予防接種期限延長検討要請 色々な事柄が期限延長になるのに対して、子どもの予防接種は全く延長がない事に疑問を感じる。そして、期間が過ぎたら実費とはいかがなものか。病院が感染症と非感染症との時間を分けている所もあるが、やはり、体調不良の方が行く所なので、色々な努力で生活しているので、子を持つ親は些細なことで行かないという意識がある。健康な状態で時期を身計らずに予防接種へ行くのは躊躇する。集団免疫獲得目的もあると思うので早急に期限延長と実費廃止を検討してもらいたい。
安城市で毎日、感染した人が、いると新聞で数字を確認しているけど、どのあたりか、東西南北くらいで知りたい
感染者に対する経済的援助、医療従事者の援助を優先して行ってください。
病院の体制を安心できる物にしてほしい。個人への援助よりも、医療関係者の援助は、もっとも必要な物だと思う。
緊急事態宣言を安易に解除しないで、しっかり収束させてからにして欲しい。コロナにかからない、うつさないという気持ちと、医療従事者の負担をこれ以上増やしてはいけないという思いで、今は色々我慢もしているが、この状況がだらだら続くのは、正直しんどい。
コロナ禍で保健センターは大混乱だと思いますが安城健康マイレージ事業は中止になっていないようです。マスコミは連日医療崩壊、医師看護師の疲弊を報道しています。ですから私はこれ以上医療関係者に負担をかけないよう多少具合が悪くても病院には行かないようにしています。コロナ感染が不安で行かないのではなくこれ以上医療従事者の負担を増やさないようにとの配慮からです。病院の現状がわかりません。行っていいのか悪いのか入院できるのかできないのか、どうやって知ればいいのか。
小学校のマラソン大会は野外活動で参観しなければやるべき、何でも中止にするのはなぜか?全ての学校、保育園、幼稚園の野外の活動は子供の経験のため、出来る限りやるべき
収入がある程度ある家庭でも、大学生が複数人いることで、子ども自身がバイトができず稼ぐことが難しいため、親の援助が必要になる。そういう家庭には、全く支援がない。しかしながら、これからの未来を担う子供たちなのだから、大学での学習が継続できるよう支援して頂きたい。
積極的な情報開示が必要。インフルエンザの罹患数が極端に減少していることから、個人での感染予防はしっかり出来ているが、1年と長期化していることから、慣れによる慢心もあり、個人に対し危機感をもう一度徹底する必要があるが、行政がどこまで介入できるのか中々難しいと思う。行政に望むことは徹底した情報開示と生活支援が第一であると思う
残業代やボーナスがカットされ、緊急事態宣言が解除した後も、金銭面での支出は控えざるを得ないので、外食はもちろん、旅行なども利用したくても出来ない状況は続くと思う。子供が大きくなって、大学生まではやはり金銭面での援助は続くので、世帯給付金などの援助をしてもらいたい。
何を優先したらいいのか?と考えた時少しでも感染者を無くすことなので事業所、イベントに感染対策を徹底してほしいです。
感染者の情報が知りたい。感染経路や考えられる感染の可能性など。今は人数だけなので、自分がしている感染対策や予防の生活がはたしてあっているのか、不安になる。

前回の緊急事態宣言に比べ、今回の緊急事態宣言は、公共施設の利用制限など、いろんな規制が緩くなって印象です。その根拠を示さずに緩くしたのは、意識が低くなるのは当然と思いました。

子育てと仕事に毎日追われて、休日も制限されストレスが溜まり、精神的にキツイが、保育園からは仕事が休みのときは家で面倒みてくれと言われる。自分の時間が一切ない。相談できるところもなくしんどい気持ちを吐き出せる機会が欲しい。

感染対策の行き過ぎには一刻も早く対処してほしい。例えばマスク。明らかに飛沫を拡散する発症者以外マスクをしても効果はないと厚生労働省も認めているにもかかわらず、どこへ行っても意味の無いマスクを強要、もしくは強要するような雰囲気があり、人の恐怖心を間違った方向に煽るような、極めて非科学的な対応がなされていることを大変恐ろしく感じている。大阪市の例では、緊急事態宣言が感染拡大抑制に全く効果がない事は専門家会議で報告されており、安城市においても、意味の薄い対策でこれ以上の経済的被害を出さぬようお願いしたい。

安城は名古屋の次にコロナ多い。コンビニで働いてるけど、マスクせず来る人間は多い 外でタバコを吸いながら咳をしている人間もいる 安城市民のモラルは悪いと感じる マスクは最早当たり前なのにそれさえ出来ない人間も多い もっともっと、そういう人に注意できる環境になってほしい

高齢者のワクチン接種を確実に実施する。

市民全員我慢して辛抱してるのに、なぜ給付金は限定されるのですか。税金はみな平等に払ってるのに。税金返して欲しいです。怒りしかありません。もっと親身になってやってください。

外出や外食を我慢しているけど、イベントはやっている。我慢している人が損をしている？出産祝いのクーポンを貰ったけど、安心して利用出来るものが無かったです。でも期限があるから、諦めるか、不安に思いながら利用するか。不要不急の外出は控えてと言われてるけど、期限が切れるのが勿体なくて出かけるの不要不急に入りますか？やっぱりまた我慢か。。。医療が大変だと思うので、家でじっとしていますが、モヤモヤを減らしてくれると、外出を控える事がストレスになりにくくなります。

経済は飲食店ばかりで回っているわけではない なぜ飲食店に重きを置くのか不明

毎日、安城市の感染者数をチェックするのが大変なので、毎日、メールがくるようになると、楽だと思うし、気を付けないとという意識も変わると思います

医療体制の見直しが不可欠。国立、県立、市立などの公的病院と個人病院と保健所の横の連携が全く取れていない。国の省庁の横のつながりが問題かも知れないが、持っている力(人的パワー、機材、施設etc)がフル活用されていない様に感じます。

安城市としての対策はもっと強化してもいいのではないかと。例えば、高齢者が利用する福祉センター等は、利用制限をもっと厳しくすべきであると思う。

今後、コロナに感染したら市の支援サービス(配食サービスの有無、ホテル療養の有無など)どういった支援があるのか知りたい。家族(子供)もいるので、もし家族感染した場合に何を準備しておくべきなのかを含めて知っておきたい。

不安をおおるような対策ではなく、メリハリのついた対策を行ってほしい。ワクチン接種が始まれば、PCR検査を少し増やしてもよいのではないかと。

企業等は公共と同様の感染対策を実施しているところが多いと思う。むしろそういった制約のない高齢者のほうが、感染対策がいい加減だと感じるのだから、そういった人々に関する感染対策の案内。医療従事者、保健所勤務者への支援をしてあげてほしい。

桜井支所ではボールペンは使用后消毒されているようだが、市役所では使いまわされていて予防意識が低いと感じた

昨年5月末に学校が再開したときは、手洗いを何度もするように指導されてきたが、子供に聞くといまは給食の前しか洗っていないとのこと。先生から声かけをお願いしたい。音楽は歌わずにハミングでということだったのに、昨秋合唱コンクールをしていた。吹奏楽の楽器演奏も大丈夫なのか心配。